

第3回多治見市役所新庁舎利活用市民会議 会議録	
日 時	令和7年5月22日（金）午後6時00分～午後7時30分
会 場	多治見市役所駅北庁舎4階第1～3会議室
出席委員	谷口まち子委員（委員長）、柴田陽一郎委員（副委員長）、加藤孝春委員、後藤紘代委員、田平沙織委員、大月直子委員
欠席委員	丹羽智子委員、渡邊直美委員、石川雄也委員
参加職員	税務課山本主査、秘書広報課荻原主任、保険年金課安藤主事
事務局	多治見市：佐藤総務部長、長谷川新庁舎建設事務局長、山本課長代理、今川課長代理、松井総括主査、長江主査、佐藤主査 株式会社安井建築設計事務所名古屋事務所：3名
傍聴人	2名
報道機関	なし
会議結果 要旨	
1. 可変性のある設計がされているとよい、雨の日でも屋内でイベントができるとよいなど様々な意見が出された。	
議事 次第	
1. 開会	
2. 事務局あいさつ	
3. 第1、2回市民会議の振り返りとその後の取組	
4. グループワーク	
5. 発表	
6. その他の質疑応答・意見交換	
7. 今後の予定	
8. 閉会	
グループワークにおける主な意見	
別添参照	
その他の質疑応答・意見交換	
<p>（委員）基本計画について、新庁舎建設の考え方として「5庁舎の柔軟性と多目的利用」の「ポイント②執務空間の変更等に柔軟に対応できる、ABWを取り入れた計画とします。」とあるが、「ABW」とはどのような意味か。</p> <p>（事務局）「ABW」とは、業務内容に合わせて最適な場を選択しながら働くという考え方。例えば、窓際のカウンター席で一人になって作業したい、打合せコーナーで複数人で話し合いながら仕事をしたいなど様々な働く場を設けることで、働く人が選択することができる新しい働き方である。</p> <p>（委員）基本計画について、新庁舎建設の考え方として「6 経済性に優れた庁舎」の「ポイント①環境に配慮した庁舎とし ZEB Ready 相当の性能を目指します。」とあるが、「ZEB Ready」とはどのような意味か。</p>	

(事務局)「ZEB Ready」とは、空調設備のエネルギー効率を工夫したり、建物の断熱性をあげたりすることで、エネルギー効率を半分以下に抑える省エネ効果の高い建物のことである。



第3回 多治見市役所新庁舎利活用市民会議

「こうしたらよくなる、配置・平面計画」

日時：令和7年5月22日（木） 18:00～19:30

場所：多治見市役所駅北庁舎4階第1～3会議室

目的：平面図を使って、新庁舎1階の多目的空間の活動を考える。

参加者：多治見市役所新庁舎利活用市民会議委員（6名）、多治見市職員（3名）

方法：3つのグループに分かれて付箋を用いた意見交換を行い、グループ毎に発表を行った。



1. ワークショップ時の様子

全体についての意見（3グループの意見を集約）

運動できるスペースがあるとよい。

地域や企業の発信スペースがあるとよい。

周りに飲食店が少ないため売店やカフェ、弁当販売があるとよい。

市民や職員が自由に飲食できるスペースがあるとよい。

ポップアップストアが出店できるようなスペースがあるとよい。

80～100人規模のイベントが行える大きなスペースがあるとよい。

健康づくりの教室や大人向けの講習会などが行えるとよい。

雨の日でも屋内でイベントできるとよい。



車いすの方や視覚障がい者に対する段差への配慮がされているとよい。

様々な什器を配置し、地域のたまり場として利用できるとよい。

将来的な機能改変に対応しやすい設計がされているとよい。

音や臭いに配慮して飲食の可否がエリアごとに分けられているとよい。

床の高さの違いによって空間をゆるやかに分けるのはよい。

平日と土日など時間帯に応じた使い分けの想定がされているとよい。

虎溪用水広場で遊んだ後に手を洗える水場がほしい。

呼び出しモニターを設ければ、役所手続きの待ち時間に利用できる。

虎溪用水広場側の大きな窓は開放感がある。

◆付箋の凡例

いいね!	こんな活動ができる ・したいなど
こうすると	良くするための アイデア



ワークショップ時の平面イメージ

当日のプログラム

- 挨拶
 - 事務局挨拶、これまでの振り返り
- 設計事務所からの説明
 - プロポーザル案についての説明
- グループワーク
 - 「こうしたらよくなる、配置・平面計画」
 - 3グループずつに分かれて付箋を用いた意見交換
- 発表
 - 各グループ毎に5分程度ずつ発表

総括

活発にご議論をしていただき、多くの貴重なご意見をいただきました。全てを計画に反映できる訳ではありませんが、いただいたご意見を可能な限り計画的に取り入れていきます。



2. グループワークの様子



3. 発表の様子

各室についての意見 (3グループの意見を集約)

たじみルーム

パーティション等で広さを自由に変えられるとよい。

勉強や相談などのクローズな使い方ができるとよい。

キッチンイベント時・平常時とも色々な使い方ができる。

「なんでも使える」ではなく、部屋ごとに特徴付けがされている。

室内の活動が外から見えるとよい。

フリースペース

勉強や読書、雑談、ボードゲームなど誰でも自由に使うことができる。

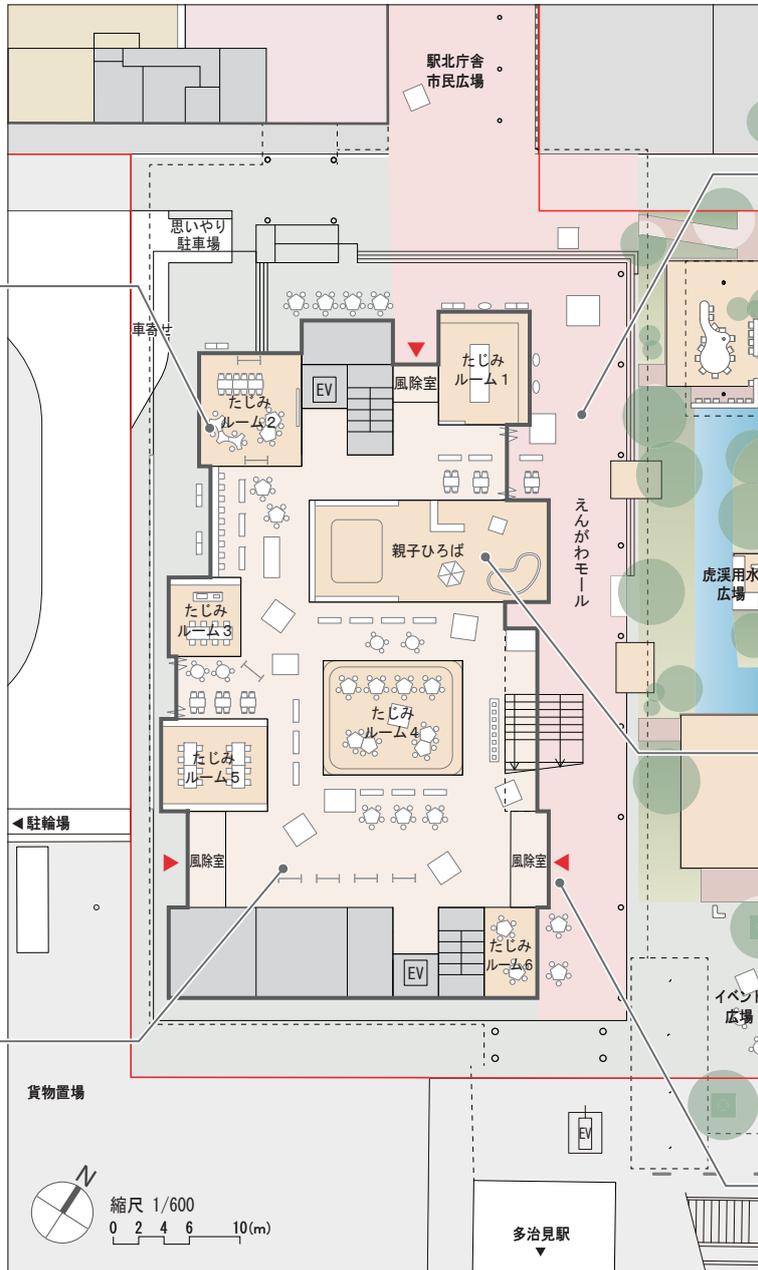
本を持ち寄って貸し合える本棚・図書スペースがあるとよい。

移動式家具ユニットが個室的として使うことができる。

カウンターで車やバスを待つことができる。

◆付箋の凡例

- いいね!** こんな活動ができる・したいなど
- こうすると** 良くするためのアイデア



ワークショップ時の平面イメージ

えんがわモール

大屋根により日影や雨に濡れずに済む。

床仕上はタイルも良いが、転倒時の安全性に配慮した素材も使うとよい。

虎渓用水広場の自然と一体となっている。

親子ひろば

近くにトイレ・おむつ替え・授乳室がほしい。

子どもが一人で部屋から飛び出すのは防ぎたいが、開放感はほしい。

安全のために死角がなく閉めることができるとうよい。

体操との使い分けができるよう、近くに広いスペースがほしい。

出入口

虎渓用水広場側に出入口があると一体感が生まれてよい。

外のイベントと一体で開催できるような出入口の仕様にしてほしい。